

## アジアロードレース選手権 第3戦 モビリティリゾートもてぎ

【AP250/ASB1000 レースレポート】

6月8~9日 天候：晴れ時々曇り

コースコンディション：ドライ 2日間の総観客数：5,600人

モビリティリゾートもてぎで今回初の開催となったアジアロードレース選手権（ARRC）は、SDGがタイトルスポンサーとなった。

6月8日（土）は全クラスの公式予選と決勝レースが開催された。AP250のアルフォンシ・ダクイガン選手（SDG Team HARC-PRO. Honda Ph.）は公式予選で13番手、決勝レース1は一時は8番手まで浮上したが10位でチェッカーを受けた。ASB1000の國井勇輝選手（SDG Team HARC-PRO. Honda Ph.）は公式予選では1分49秒444のトップタイムを記録して、ARRCでの初めてポールポジションを獲得した。決勝レース1はオープニングラップを4番手で通過し、追い上げを目指す2ラップ目の5コーナー進入で他車と接触。その接触が原因でマシンからオイル漏れが発生し、マシンを止めてリタイアでレース1を終えた。

6月9日（日）は全クラスのウォームアップ走行と決勝レース2が開催。AP250のアルフォンシ選手はスタートから目標であったトップグループに加るも、9ラップ目のS字コーナーでライバルとのバトル中にコースアウトを喫して、リタイアでレースを終えた。

ASB1000のレース1でダメージを負ったマシンでは戦えないため、チームは深夜までスペアマシンで戦う準備を進めた。ウォームアップ走行で、國井選手はスペアマシンをチェックしながらトップタイムを記録。戦える準備を整えた。迎えたレース2、ホールショットはライバルに奪われるものの、すぐにトップを奪いラップを重ねる毎に2番手以降を突き放し独走。ARRCでの嬉しい初優勝を遂げた。

次戦はインドネシア・マンダリカサーキットで、7月26日に開幕予定。



- AP250 -



#51 SDG Team HARC-PRO. Honda Ph.  
アルフォンシ・ダクイガン  
予選:13位  
決勝レース1:10位&レース2:リタイア

- ASB1000 -



#92 SDG Team HARC-PRO. Honda Ph.  
國井勇輝  
予選:1位  
決勝レース1:リタイア&レース2:1位

SNS ACCOUNT



@SdgMSOfficial



@sdgrider



SDG Co., Ltd.